

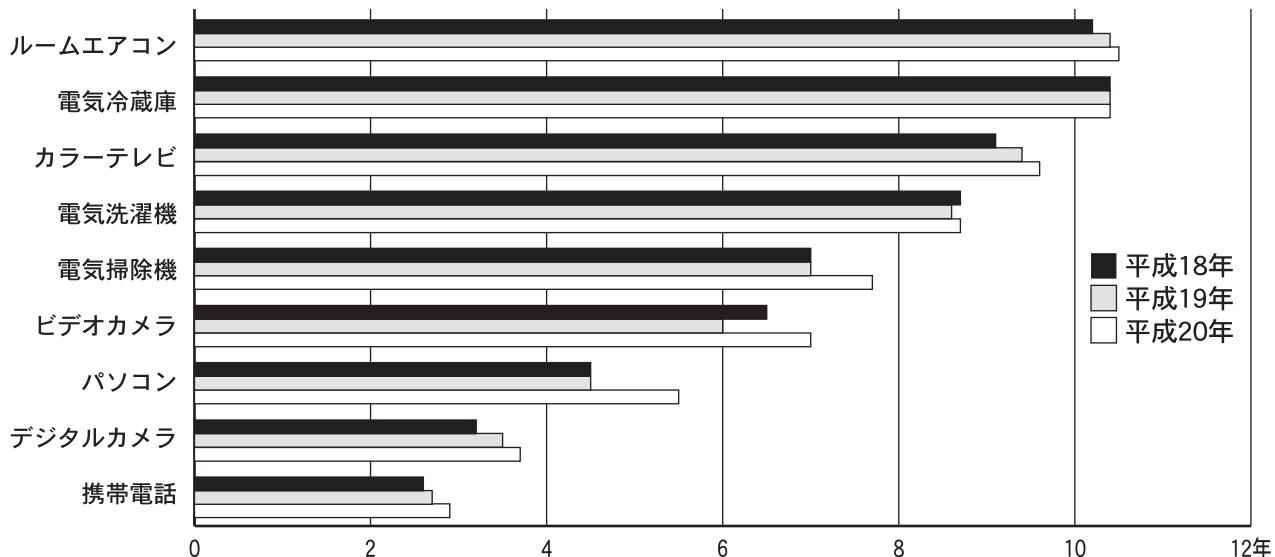
Statistical Room



定額給付金の使いみち

昨年の秋から国において議論をされてきた「定額給付金」の支給が、市町村を通じて各世帯あてに始まっています。この定額給付金は、景気後退下での住民への生活支援を行うとともに、地域経済の活性化を目的としています。この給付金を利用して、電化製品等を買い替えようと考えている方もおられるのではないでしょか。

図1 主要耐久消費財の平均使用年数



内閣府では、消費者の意識、旅行の実績・予定、サービス等の支出、主要耐久消費財等の保有状況を把握し、景気動向の判断資料とするため、毎月消費動向調査を行っています。図1は、主要耐久消費財を買い替えた世帯の買い替え前の平均使用年数について表したものです。平成20年調査では平成18年調査と比較すると、ほとんどの品目について平均使用年数が伸びていることがわかります。電気掃除機は0.7年、パソコンは1年も長く使用しています。

では、買い替え理由はどのようなものでしょうか。図2は、平成20年に調査した世帯に買い替え理由をたずねたものです。図1で使用年数が長い品目は、「故障」により買い替えることが多くなっています。また、住居の変更が買い替え理由に多い品目としては、ルームエアコンがあるようです。

景気が悪くなり家計に影響が出てくると、どうしても耐久消費財などの買い物を控えてしまうのですが、省エネ家電への買い替えなど今回の給付金を有効に活用した意義ある消費行動によって、景気回復に貢献したいものです。

図2 主要耐久消費財の買い替え理由

